

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：小児周産期病院における性虐待被害児への性感染症スクリーニング検査の実態について

1．研究の目的

小児三次医療施設である当センターにおいて性虐待・性被害後対応をした小児における性感染症スクリーニング検査の陽性率や、本患者群における性感染症の疫学、性感染症治療・予防の実態を明らかにすることを目的とします。

2．研究の方法

研究対象：2002年9月～2023年4月-2025年1月31日までに、当センターこどもの生活安全対策室で性被害・性虐待（疑い）として対応された患者さん

— 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日-2026年3月31日

研究方法：診療録から臨床情報を後方視的に抽出し、その結果について検討します。

3．研究に用いる情報の種類

患者さんの臨床情報として、患者さんの年齢、性別、検査結果、治療経過 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文などの形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

(HP)

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年12月31日-2025年4月31日までに下記の連絡先までお申出ください。それ以降であっても同意の撤回は可能ですが、その時点で既に学会等に公表された内容については取り消しできないことをご了承ください。なお、同意を撤回された場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 感染制御部 相葉裕幸

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7699）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 感染制御部 相葉裕幸（責任者氏名）